

働きがいを
向上させるために

上田染谷丘高等学校
1年 村上二胡

この課題に関わるSDGsの番号

8 働きがいも
経済成長も



テーマ設定の理由

- ・日本人が働きがいを感じている人が少ない
- ・日本で非正規雇用者数の割合が年々増えている
- ・将来働くなれば働きがいを感じながら働きたい
- ・正規雇用者と非正規雇用者の待遇に差がある

現状と課題①

左のランキングから、世界26各国で実施した「今に仕事にやりがいを感じていますか？」というアンケートで日本は最下位だった

はたらく幸せ/不幸せ実感の国際比較で、日本は両方とも最下位である



仕事にやりがいを感じている日本人が少ない！！！！

日本人は仕事にあまり関心が無いのかもしれない

「今の仕事にやりがいを感じていますか？」

国・地域	サンプル数	満足する	どちらでもない	満足しない
全体	18,219	88%	8%	4%
1 インド	923	95%	3%	2%
2 マレーシア	570	94%	5%	1%
3 ドイツ	754	93%	5%	2%
4 インドネシア	575	92%	6%	1%
5 イギリス	742	92%	6%	2%
6 フラッグ諸島国連邦	748	92%	5%	3%
7 南アフリカ	762	92%	6%	3%
8 オーストラリア	757	91%	6%	3%
9 米国	935	91%	6%	3%
10 カナダ	743	91%	8%	2%
11 デンマーク	550	90%	7%	2%
12 ニューゼーランド	575	90%	6%	4%
13 ノルウェー	579	90%	7%	3%
14 オランダ	717	89%	9%	2%
15 スウェーデン	570	89%	8%	3%
16 シンガポール	574	88%	9%	3%
17 中国	963	88%	8%	3%
18 香港	559	88%	9%	3%
19 イタリア	712	87%	9%	4%
20 スペイン	689	86%	10%	4%
21 フィンランド	557	84%	11%	5%
22 ブラジル	698	83%	10%	7%
23 ロシア	764	82%	13%	4%
24 フランス	691	82%	13%	5%
25 トルコ	741	80%	15%	6%
26 日本	751	77%	13%	10%

withnewsより

【図表1】はたらく幸せ実感/不幸せ実感の国際比較



PRESIDENT Onlineより

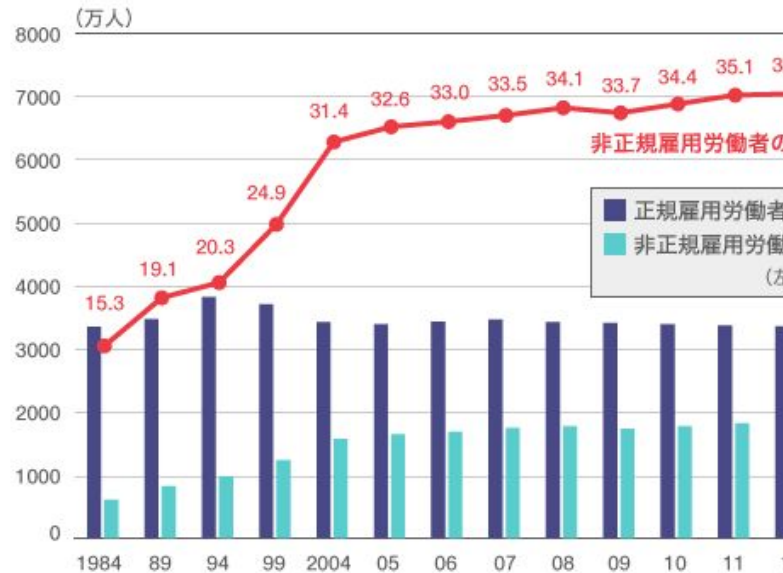
現状と課題②

正規雇用者数があまり変化していないのに対し非正規雇用労働者数が年々増化している



非正規雇用数が増加すると正社員になりたい人がなれなかったり、正規雇用者と非正規雇用者で給料に差があるなどで経済格差が生じる

図2 正規雇用と非正規雇用の推移



総務省の統計資料をもとにnippon.com編集部が作成

10代からの提言

～働きがい向上させるために～

自分でできること

仕事仲間とコミュニケーションをとり良い関係を築く
仕事での目標、ゴールを設定する

社会で取り組むべきこと

正規雇用者と非正規雇用者の待遇の差を小さくしていく
適正な評価制度を設ける

感想

地球温暖化やジェンダー平等、飢餓をゼロにすることなどの取り組みは授業で扱うことがあり、どういうことをしているかは知っていたけど、働きがいについてのことはあまり知らなかったので調べてみました。

仕事の満足度が上がると生活をするのがより楽しくなっていくと思うので、よりよい生活を送るためにも、「働きがいも経済成長も」の達成率が上がっていけばいいなと思いました。